

## 特徴

- ・人間の Paladin
- ・身長は5フィート8インチ、金髪碧眼のツヤツヤした美青年（Cha22）
- ・交渉と錬金術が得意
- ・帝国を倒すことを望んでいるが間違った手段で得た結果に意味はないと思っている
- ・ぶっちゃけウザい
- ・先祖伝来のファルシオン（Sword of Hifatt( 仮 )）を持っている
- ・ファルシオンには祖霊（Olein Hifatt）が宿っている
- ・最近ちょっと太り気味

## バックグラウンドストーリー

Abraham Hifatt（アブラハム・ハイファット）はある農村を領地として持っている貴族、Hifatt 家に次男として生まれました。

彼は武術よりは学問（それも錬金術）が得意でしたが父親は彼が嫡子ではなかったので彼の好きなようにさせておきました。

しかし、彼が父の使いで家を空けている間に悲劇は起きました。村が帝国のバックアップを受けた野盗に襲われたのです。家は焼かれ、財産は奪われ、人々は奴隷にされました。廃墟となった家には父も母も異母兄も、そして最愛の妹 Catherine の姿もありませんでした。

彼は絶望の淵に沈み、何もしてこなかった自分を責めました。彼は帝国を倒す戦いの中で死ぬことが償いになると考え、剣を手に取りました。その時、光り輝く球体が彼の前に姿を現したのです。

「人の子 Abraham よ、お前の罪は我々が預ろう。正義と法を以て帝国に抗うのだ。その身に名誉のある限り、お前にはハイローニアスの加護があるだろう」

球体（ランタンアルコン）はそう告げると姿を消しました。このとき、彼はパラディンとしての召命を受けたのです。

## 導入

Abraham は小規模なレジスタンス「青き自由の旅団」に属していました。しかし、正直者の彼は秘密を以て力とするリーダーと相容れず、ギクシャクした人間関係を送っていました。

そんな折、新たなレジスタンスに加入するため旅団を出るとの命が Abraham に下りました。有能な人間を派遣すると同時に厄介払いも行う……いかにも切れもののリーダーの考えそうなプランです。彼は荷物をまとめて旅に出ました。

## 第一回覚え書き

- ・レジスタンス組織 TwentyChains に加入
- ・先祖伝来の Falchion を研ぎ直してもらう
- ・目が悪かった

## 第二回覚え書き

- ・足が遅いのは辛い

## 第三回覚え書き

- ・ドラゴンは強い

#### 第四回 アフターエピソード

コメリカ解放のため Abraham は Theodore 達と共に首都で戦いました。王女 Augusta の救出や Dr.Lucky に他のメンバーが頑張ったこともあって、コメリカは無事解放されました。

彼はこのことを神の使いに報告すべく、ハイローニアスの寺院に向かいました。供物を祭壇に捧げ、知り合いのハイローニアス神官と共に祈っていると、輝く球体が彼の前に現れました。

「人の子 Abraham よ、お前の行いしかと見届けた。我が主はこの成果に満足し、お前をセレスティアの尖兵として臣下に加えようと考えておられる。その先触れたる力をお前に与えよう。さらなる戦いをくぐり抜け、我が主の信頼に応えて見せよ。」

Abraham と神官が頭を上げると、そこにランタンアルコンの姿はありませんでした。代わりに、彼の Falchion はうっすらと乳白色の魔法の光を帯びていました。

- ・ランタンアルコンの主は Raziell (セレスチャルパラゴン) です
- ・勝手なエピソードなんで DM は都合が悪かったら改ざんして下さい

#### 第五回 アフターエピソード

シェースチランドの攻防戦を終えたとき、Abraham は自分の戦士としての力量不足を痛感しました。自分には Tiko のような技もなければ Roche のような力もない。強力な呪文など望むべくもない。このままでは共に戦う仲間達を守りきれない日が来るのではないかと彼は考えました。そう、かつて彼が全てを失ったような日が再び来るのではないかと。

もっと戦う技術があれば違うかもしれないと思った Abraham は戦士として修行を積むことを選びました。しかし、ある夜、ランタンアルコンが彼の夢の中に現れました。

ランタンアルコンが言うことには、人にはその役割というものがあり、それを超えることは逆に身を危うくするとのことでした。Raziell 様も焦っている Abraham を見て、彼を僕にするにはもう少し時間が必要との判断を下したようです。ランタンアルコンはまた、アドバイスもしていました。彼の持つ錬金術の知識、その活かし方の一端を伝えたのです。

- ・Pal じゃなくて Ftr をあげたので頭を冷やされました
- ・次で AnointedKnight になるよ

#### 第六回 覚え書き

Olein さんが教えてくれた Hifatt 家に伝わる錬金術の秘儀により Abraham は AnointedKnight になりました。

AnointedKnight とは、かの上のエルフ達の時代、錬金術の業を持って悪と戦っていた素晴らしき善の戦士なのです。つまりは錬金の戦士であり、悪い奴ははらわたをぶちまける。

#### 第七回 覚え書き

- ・Theodore 死す。

#### 第八回 覚え書き

- ・1 を振ったエナジードレイン 4000XP

- ・溶かされた +1 フルプレート 2500GP
- ・ジャスティス プライスレス

## 第九回 覚え書き

卑劣なるアンデッドの手にかかり、9HD 以上の全ての (Evil)Creature を憎悪する存在となった Abraham(8HD)。彼は仲間達と合流すべく、Caneewa へと向かった。途中、汚い暗殺者やもっと汚いニョロー味がその行く手を阻む！

その身を返り血と脳みそスライムで染めながら Abraham は修羅のごとく戦い、その果てにかつて袂を分かった仲間達と合流、和解することが出来たのだった。

Abraham はその正義の怒りを認められ、天界の使徒になりましたとさ。めでたしめでたし。

- ・修羅のごとく戦ったので 2Lv もあがったよ
- ・そのうち 1Lv 分は純粋な戦闘経験ということで Ftr があがったよ

## 第十回 アブラハム劇場

InsmaCity への道行き途中、Abraham は困った顔をした BronzeDragon( でかい )に出会いました。話を聞くと、最近 Tiamatspawn が現れて財宝をかすめ取ったり卵を脅かしたりするらしいのです。人を欺くことが苦手な Abraham は InsmaCity での調査でなく BronzeDragon の手助けをすることにしました。抱卵中で巣を離れられない BronzeDragon に変わって Abraham が Tiamatspawn を追跡すると、小規模な Tiamat の寺院があったのです。正義の怒りに燃える Abraham は Olein さんと共に Tiamat の寺院にカチコミをかけ、グリーンスポーン汚いフィードとかをなぎ倒して Tiamat の寺院を壊滅へと追い込みました。するとそこには多額の財宝が！しかし、それは BronzeDragon の持ち物。Abraham はきちんと持ち主に返しました。BronzeDragon は Abraham に言いました。

「宝を取り戻してくれてありがとう。お礼にこの私の叡智がちょっぴりつまった素敵な彫像をあげよう。今なら魔法の台座もついてお値段据え置き、その上特製ヒレ付き手袋と金貨一割のキャッシュバック付きだ」

そういう訳でいろいろもらいましたが金貨は全てキュアポーション代に消えました。Abraham が身に余る報酬にためらっていると、そこに LanternArcon が現れました。しかし、Abraham はその後ろに圧倒的な正義パワーを感じました。すると、モヤモヤモヤーンと光が形を取り、天使の姿を映し出しました。BronzeDragon が驚きながら頭を下げたので Abraham も慌てて頭を下げました。

その天使は CelestialParagon の Raziel、"The Crusader" の異名を取る Celestia の切り込み隊長でした。

Raziel 様は

「Abraham 君といったね、君が召命を受けてからずっと見守ってきた。道に迷ったときもあったようだが、良き先祖の導きでその迷いも実になったようで何よりだ。

さて、君の行いは実に素晴らしい。特に悪い奴らのアジトに一人でカチコミを掛けるという発想はみどころがある。『Hell から悪い奴らがやってくる、どうしよう』となったとき、その答えはひとつ。『Hell まで行ってやっつける』だ。君の考えは我々の考え方に極めて近い。そこで私は君たちを部下として迎えようと思う。どうだい、やってくれるかな？」

といいました。Abraham と Olein さんが「我ら Hifatt の血に連なるもの二人、非才の身ながら全力

にてその任を務めさせていただきやす」と答えると、Raziel 様は「Smite の回数増やしてあげるから存分に悪いやつをサーチアンドデストロイしなさい( 意識 )」と言って帰っていきました。めでたしめでたし。

- Fist of Raziel になりました
- Dragon からいろいろ高価なものをいただきました